

## 第2回ねじ部長さJIS改正原案作成委員会議事録（案）

1. 日 時：平成25年10月2日（水） 14：00～17：05
2. 場 所：機械振興会館6階62号室
3. 出席者（順不同・敬称略）

| 氏 名   | 所 属        | 氏 名   | 所 属      |
|-------|------------|-------|----------|
| 賀勢 晋司 | 元信州大学（委員長） | 今西 武史 | （株）イマニシ  |
| 武藤 治  | メイラ（株）（幹事） | 木田 秀樹 | （株）互省製作所 |
| 大橋 宣俊 | 元湘南工科大学    | 大磯 義和 | 日本ねじ研究協会 |
| 根本 俊雄 | 元東京大学      | 中林 賢司 | 日本ねじ研究協会 |
| 簡野 裕行 | 日産自動車（株）   |       |          |

#### 4. 配付資料

資料8 実施計画（案）

資料9 JIS B 1009 改正二次案

#### 5. 議事

##### 5.1 前回議事録の確認

事務局が前回議事録案（資料8）を通読し、確認された。

##### 5.2 JIS B 1009 改正二次案（資料9）の審議

###### 1) 序文

・下から1行目，“なお、・・・・・・ない事項である。”を削除する。（該当箇所がないため）

###### 2) 1 適用範囲

・本文の2行目～3行目にかけての“ねじ部長  $b$  さ”を“ねじ部長さ  $b$ ”に修正する。

###### 3) 2 引用規格

・下から6行目，“(DT)”を“(IDT)”に修正する。

###### 4) 3 記号及び意味

・各記号の意味の後ろに単位“(mm)”を追加する。

・下から2行目，“無い”を“ない”に修正する。

###### 5) 4.1 一般

・1行目，“形状に関わる”を削除する。

・1行目から2行目，“JIS B 0143 で規定している。”を“JIS B 0143 による。”に修正する。

・下から2行目，“ねじ先部”を“ねじ先”に修正する。

・下から2行目，“ねじ部長さ”を“ねじ部長さ  $b$ ”に修正する。

- ・ 下から1行目，“JIS B 0143 参照”を“JIS B 1003 参照”に修正する。
- 6) 4.2 ボルト及び小ねじ
- ・ 1行目，“備えた”を“もつ”に修正する。
  - ・ 2行目，“の距離”を“の長さ”に修正する。なお、これ以降の文中に出てくる“の距離”も“の長さ”に修正する。
  - ・ 図1のタイトル，“直行”を“直交”に，“備えた”を“もつ”に修正する。
  - ・ 図3のタイトルの下文章を“かさ形くぼみの座面，歯付きの座面及び類似の座面をもつボルト又は小ねじに対する呼び長さ  $l$  は，ボルト又は小ねじの座面部分の有効面からねじ先の端面までの長さとする。”に修正する。
  - ・ 図4のタイトルを“かさ形くぼみの座面をもつボルト及び小ねじの呼び長さ”に修正する。
- 7) 4.4 植込みボルト及び類似のねじ部品
- ・ 注記の文章を再検討し，適切な表現となるように修文することとした（ペンディング）。
  - ・ 図8，右側の端面の形状を丸先に修正する。
  - ・ 図8のタイトルを“植込みボルトの長さ”に修正する。
  - ・ 図8のタイトルの下の文章を“両ねじボルト，片ねじボルト，全ねじ植込みボルト及びねじ棒に対する呼び長さ  $l$ ，両端面間の長さとする（図9～図12参照）。”に修正する。
  - ・ 図9のタイトルを“両ねじボルトの長さ”に修正する。
  - ・ 図10のタイトルを“片ねじボルトの長さ”に修正する。
  - ・ 図11のタイトルを“全ねじ植込みボルトの長さ”に修正する。
  - ・ 図12のタイトルを“ねじ棒の長さ”に修正する。
- 8) 5 呼び長さ  $l$  の寸法
- ・ タイトルを“呼び長さ”に修正する。
  - ・ 1行目，“呼び長さ  $l$  の寸法は”を“呼び長さ  $l$  の値は”に修正する。
  - ・ 表1のタイトル中，“用いた”を“もつ”に修正する。
- 9) 6 ねじ部長さの寸法
- ・ タイトルを“ねじ部長さ”に修正する。
  - ・ 3行目から5行目の式についている単位“mm”を削除する。（3 記号及び意味で単位を付記したため。）
  - ・ 下から1行目，“全ねじボルトとするのがよい。”を“全ねじとして扱うのがよい。”に修正する。
  - ・ 表2のタイトル中，“用いた”を“もつ”に修正する。
  - ・ 表2の下の8行の文章は，“ねじ部長さ”についての規定であるにも拘わらず，“円筒部の長さ”について言及する箇所があるので混乱してわかりにくいことから，構成，表現等を再検討して修文することとした。（ペンディング）

## 6 その他

### 1) 今後の進め方

- ・今回の審議結果をもとに改正三次案を作成して書面審議にかける。なお，書面審議の結果，必要があれば，対面審議を行う。

以上